

# 平成14年度

# 共通教育履修案内

## 〔2年次以上の学生用〕

この履修案内は、共通教育授業時間割及び2年次以上の学生の共通教育の履修上の注意事項等についてお知らせするものです。学生のみなさんは、各学部の履修の手引及び入学時に配付した共通教育履修の手引きにより、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照にして、履修計画をたててください。

なお、学生のみなさんは、この履修案内を紛失等しないように、留意してください。

山口大学学務部教務課

## 平成14年度 共通教育関係学事日程表

学期	日	時	摘 要
前 成 期 14 年	4月 1日(月) ~	4月 7日(日)	春季休業, 各学部オリエンテーション(注1)
	4月 8日(月)		授業開始
	4月 9日(火)		入学式(臨時休業)
	6月 1日(土)		山口大学創立記念日
	6月 8日(土)		第1回TOEIC試験
	7月17日(水)		月曜日授業振替日(注2)
	7月18日(木) ~	7月31日(水)	前期末定期試験
	8月 1日(木) ~	9月30日(月)	夏季休業
	8月 5日(月)		第2回TOEIC試験
後 成 期 15 年	10月 1日(火)		授業開始
	12月25日(水) ~	1月 7日(火)	冬季休業
	1月17日(金)		午後臨時休業
	1月21日(火) ~	1月22日(水)	月曜日授業振替日(注2)
	1月23日(木) ~	1月24日(金)	補講期間
	1月28日(火) ~	2月10日(月)	後期末定期試験
	2月11日(火) ~	3月31日(月)	学年末休業
	3月25日(火)		卒業式

▶ この学事日程については、共通教育に関するもので、所属する学部固有の行事等については、所属する学部の教務担当係の指示に従ってください。

(注1) 各学部オリエンテーションの日程等については、所属する学部により異なりますので、所属する学部の教務担当係の指示に従って、必ず参加してください。

(注2) 月曜日授業振替日とは、祝祭日等により休日となる月曜日の授業を振り替えて、当該の日に月曜日の授業を行うものです。従って、振り替えられた曜日の授業については、休講となります。

### 履修届の提出等について

2年次以上の学生については、所属する学部の指定する期間に、各学部の教務担当係に履修届を提出してください。また、各学部の指定する履修届変更受付期間及び履修届確認期間には、所定の手続きを行い、正確な履修登録を励行してください。

# I. 履修手続等について

## 1. 共通教育科目の授業計画

### (1) 共通教育シラバス

共通教育シラバスには、当該年度の各共通教育科目の授業の概要や授業計画、成績判定基準、テキスト等に関する情報を記載しています。

### (2) 共通教育履修案内

共通教育履修案内には、当該年度の共通教育時間割及び共通教育科目の履修手続に関する情報を記載しています。

## 2. 履修手続に関する注意事項

### (1) 受講票の提出

共通教育科目を履修する学生は、共通教育履修案内に綴じ込みの受講票に、必要な事項を記入して、原則として最初の講義時に、履修しようとする授業科目の担当教官に提出して、担当教官の承認を受けてください。

なお、履修希望者多数の場合には、受講制限を行う授業科目もありますので、最初の授業に必ず出席してください。

### (2) 履修届の提出

所属する学部の教務担当係の指示に従い、履修届を提出してください。

## 3. 履修手続に関する注意事項

### (1) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがあります。クラス指定された授業科目については、原則として、該当する対象学生以外履修することはできません。

### (2) 重複履修の禁止

同一の曜日及び時限において、2つ以上の授業科目を重複履修することはできません。重複履修の場合には、そのすべての単位を無効とします。

### (3) 既修得授業科目の再履修について

積み上げ履修可能な授業科目を除いて、既に単位を修得した授業科目を再度履修し、単位を修得しても、卒業に必要な単位に加算することはできません。

また、既に単位を修得した授業科目の評価については、再度単位を修得したとしても、過去の評価を変更することはできません。つまり、『可』の評価であった授業科目について、再履修により『優』の評価を受けたとしても、『可』の評価に『優』の評価を加えることになり、『可』の評価を抹消することはできません。

### (4) 履修届における誤記入等の授業科目の取り扱い

履修届に記入していない授業科目、担当教官及び時間割コード等を誤記入した授業科目については、履修することができませんし、単位を認定することもできません。

### (5) 履修確認票に明記されていない授業科目の取り扱い

履修確認票とは、みなさんが提出した履修届を電算処理して、履修しようとするすべての授業科目について、曜日・時限、コード、授業科目、単位、担当教官等を記載した書類です。

履修確認票に記載されていない授業科目については、履修することができませんし、単位を認定することもできません。また、担当教官及びコード等が誤表示された授業科目については、実際に履修している授業科目の定期試験等を受験したとしても、成績の認定をすることができません。

なお、履修確認票を受領しない学生及び亡失した学生については、その後の履修及び成績の問い合わせには、一切応じかねます。

## 4. 履修及び授業に関する問い合わせ

### (1) 履修に関する問い合わせ

共通教育科目の履修に関する問い合わせについては、原則として、**所属する学部の教務担当係**に申し出てください。ただし、1年次の医学部及び工学部の学生については、**教務課共通教育係**に申し出てください。

### (2) 授業に関する質問等

授業に関する質問については、共通教育シラバスに記載されているオフィスアワーを利用して、担当教官にコンタクトをとってください。

また、非常勤講師については、授業の開始前及び終了後等の時間を利用して、質問するのが良いでしょう。教務課共通教育係においては、非常勤講師の連絡先等については、学生に教えることはできません。

なお、非常勤講師室については、共通教育本館1階に設置しています。

### (3) 授業の欠席届

疾病、忌引、教育実習、就職試験等やむを得ない事由により授業を欠席する場合には、欠席届を提出することができます。欠席届には、所属する学部及び学科等、学籍番号、氏名、欠席日時及び欠席事由を記入し、授業担当教官に提出してください。教務課共通教育係においては、所定の欠席届を作成していませんので、任意の様式により作成してください。

なお、欠席届については、担当教官に欠席を届け出るためのものであり、出席扱いになるものではありません。

## 5. 掲示について

### (1) 掲示板の設置

共通教育科目に関する学生への諸連絡については、共通教育本館1階の情報処理大演習室前の電子掲示板及び共通教育本館一共通教育合併講義棟の渡り廊下の共通教育掲示板において、掲示により指示しますので、1日1回程度、掲示板を忘れずに確認してください。

### (2) 自己責任について

掲示の見落としによって、レポートの提出期限に遅れたり、各種のオリエンテーションに欠席したり、休講や教室変更の情報を得られなかったりして、不利益を生じることがあります。これらの不利益とは、本人の不注意によるもの以外の何ものでもないので、自己責任の意識を明確に持ち、行動してください。

## Ⅱ. 共通教育の定期試験について

### 1. 定期試験について

#### (1) 定期試験

共通教育科目の定期試験については、原則として2週間の定期試験期間を設定して、筆記試験により実施します。ただし、担当教官によっては、定期試験をレポート等の提出に替えることがあります。

また、担当教官によっては、中間試験等を実施することもあります。

#### (2) 定期試験の時間割発表

共通教育科目の定期試験の時間割の発表については、定期試験開始日の1週間前に、掲示により行います。

なお、専門科目の定期試験の時間割等については、所属する学部の指示に従ってください。

### 2. 定期試験の受験上の注意

#### (1) 不正行為

定期試験等において、不正行為を行った学生については、その行為が発覚した時点から謹慎処分となり、その学期における当該学生の履修した授業科目すべての単位が無効となり、学則により相応の懲戒処分をうけることとなります。

#### (2) 学生証の提示

定期試験を受験する際には、必ず学生証を持参し、机の上に提示してください。学生証を忘れた学生については、定期試験を受験することができません。

#### (3) 遅刻者及び退席者の取り扱い

試験開始後30分以上遅刻した学生については、受験することができません。また、試験開始後30分以上経過するまでは、試験室を途中退席することができません。

#### (4) その他の注意事項

定期試験の答案用紙には、所属学部等、学籍番号及び氏名を明記してください。これらを記入していない答案については、無効となることがあります。

また、定期試験時間中に、試験監督者の指示及び注意事項を遵守しない学生については、退席を命じられることがあります。

### 3. 追試験について

#### (1) 追試験とは

追試験とは、定期試験を受験できない事由のある学生を対象として、学生本人の申請に基づき、その事由を『真にやむを得ない事由』として認める場合に限り、実施する試験です。

#### (2) 『真にやむを得ない事由』及び申請に必要な証明書類

- ◆ 疾病 ⇒ 医師の診断書
- ◆ 忌引(2親等内の親族に限る。) ⇒ 会葬御礼の書面等
- ◆ 国家(地方)公務員試験の第2次試験の受験 ⇒ 第1次試験の合格通知書
- ◆ 大学教育センター長が、特にやむを得ない事由であると認めた場合

#### (3) 追試験の申請手続

原則として、事前に『共通教育科目追試験願』に所定事項を記入及び押印し、受験することができない事由を証明する書類を添付して、教務課共通教育係に提出してください。

また、事前に申請することが時間的に困難な場合には、当該の定期試験開始前までに、教務課共通教育係に連絡し、了解を得てください。この場合の申請書類については、当該の定期試験期間終了後1週間以内に、教務課共通教育係に提出しなければなりません。

なお、専門科目については、所属する学部の教務担当係に申請してください。ただし、医学部及び工学部の1年次生については、教務課共通教育係に提出してください。

#### (4) 追試験の実施

追試験については、当該の定期試験終了後に、速やかに実施します。

再試験の実施日時等については、教務課共通教育係から本人に連絡があります。

### 4. 再試験について

#### (1) 再試験とは

再試験とは、定期試験を受験した学生のうち、成績評価の『不可』の学生を対象として、各担当教官の判断により実施する試験です。つまり、定期試験を受験しなかった学生については、再試験の対象となりません。

#### (2) 再試験の実施

再試験については、定期試験終了1週間後から5日間の期間に、担当教官が実施します。

再試験の対象学生や実施日時等については、担当教官から通知がありますので、掲示等に留意しておいてください。

#### (3) 成績の評価

再試験により合格した学生の成績評価については、すべて『可』となります。

### 5. 成績について

#### (1) 成績について

成績については、定期試験等の成績、学習状況、出席状況等を考慮し、担当教官の成績判定基準によって、100点法により算出されます。60点以上を合格とし、100点～80点を優、79点～70点を良、69点～60点を可、59点以下を不可(不合格)と表記します。

なお、成績判定基準及び成績評価方法については、担当教官により異なりますので、共通教育シラバスを参照にしてください。

#### (2) 成績の通知について

成績の通知については、所属する学部において、成績通知票の配付のみにより行われます。成績通知票の配付日時等については、掲示により通知しますので、特に留意しておいてください。

なお、教務課共通教育係においては、成績通知票の配付以前に、いかなる事由によっても、個別に成績の通知を行いません。

#### (3) 成績に関する問い合わせ

共通教育科目の成績に関する問い合わせについては、原則として、所属する学部の教務担当係に申し出てください。ただし、1年次の医学部及び工学部の学生については、教務課共通教育係に申し出てください。

#### (4) 成績の自己管理

卒業するまでの成績については、配付された成績通知票を保管し、自己の責任により自分の成績状況等を正確に把握しておいてください。単位数の修得状況の勘違い等により卒業できない事態を招くことのないように、留意してください。

### Ⅲ. 不足単位を補う場合の履修について

#### 1. 旧課程の学生(平成13年度以前入学者)への留意事項

(1) 旧課程の学生の履修について

各学部の履修の手引及び入学時に配付された共通教育履修の手引により、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

(2) 旧課程への読替表について

この履修案内に記載されている旧課程への読替表とは、新課程の授業科目の単位を修得することにより、旧課程のどの分野のどの授業科目の単位に読み替えられるかを一覧表にしているものです。学生のみなさんは、自分の単位修得状況とこの旧課程への読替表を照らし合わせながら、共通教育の不足単位を修得していきます。

(3) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがあります。クラス指定された授業科目については、原則として、該当する対象学生以外履修することはできません。

ただし、このクラス指定とは、新課程の履修要件に基づき指定されているので、旧課程への読み替え対応する授業科目については、クラス指定によらず履修することができます。

#### 2. 英語の不足単位を補う場合の留意事項

(1) 英語の不足単位の補いについて

旧課程の英語については、新課程においては、開講されません。従って、不足単位を補う場合についても、新課程の学生と同様に、新課程の履修要件に従って、前期の『TOEIC準備』から順に履修してください。

なお、新課程と旧課程との間には、単位数の換算方法に違いがあるため、授業科目ごとに読み替え関係を指定しません。不足単位の補いについては、旧課程の不足単位数を新課程の単位数により充足することによって、卒業に必要な単位として認定されます。

(2) 新課程の英語の授業科目について

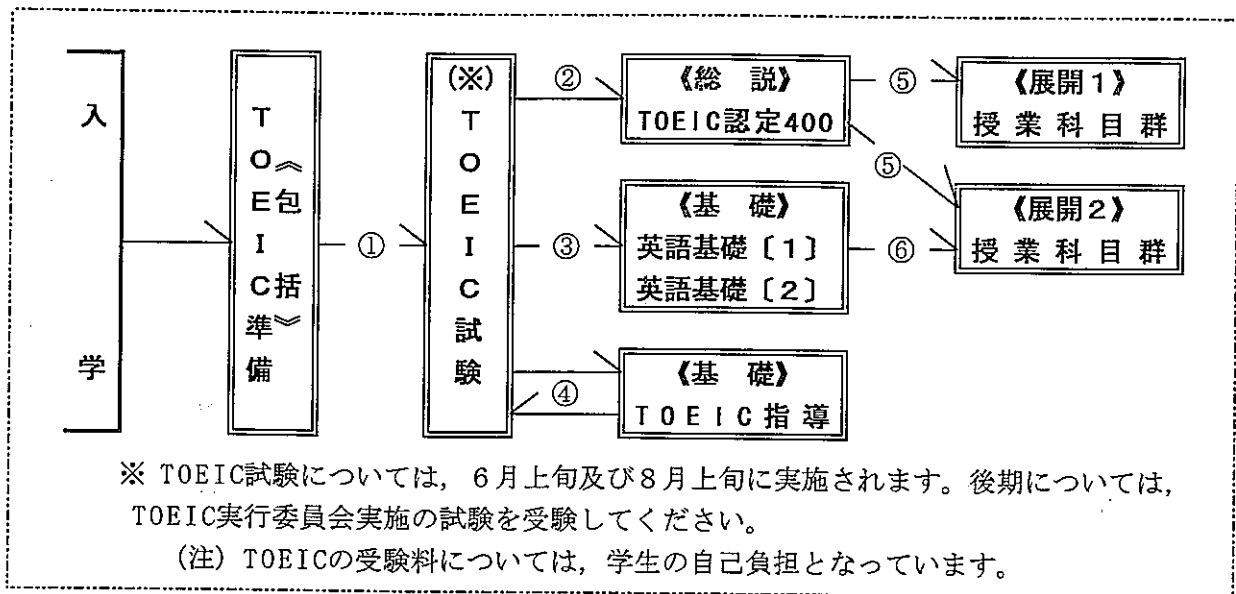
新課程の授業科目のうち、不足単位を補う場合の単位数に算入できる授業科目については、以下のとおりとなっています。

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単 位 数
英 語	TOEIC準備	共通	包括	1
	TOEIC指導	共通	基礎	1
	英語基礎〔1〕	共通	基礎	1
	英語基礎〔2〕	共通	基礎	1
	TOEIC認定400	共通	総説	0
	実践総合英語	共通	展開2	2
	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	共通	展開2	2
	Comprehensive English(By Native Speakers[2])	共通	展開1	2
	英語リーディング	共通	展開1	2
	英語ライティング	共通	展開1	2
	英語特別演習	共通	展開1	2
	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2
TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2	

### (3) 単位修得の仕組みについて

単位修得の仕組みについては、以下の図のように示されます。

なお、TOEICの日程等については、掲示等により指示しますので、留意しておいてください。



- ① 学生は、前期クォーター1において、指定クラスのTOEIC準備を履修し、6月上旬のTOEIC試験を受験すれば、TOEIC準備(必修)の単位(1単位)を認定します。
- ② TOEICのスコアが400点に到達した学生については、TOEIC認定400の認定を受け、単位認定の申請の際に未修得の基礎の授業科目の単位(最大3単位)をすべて認定します。
- ③ TOEICのスコアが300点に到達した学生については、TOEIC指導の単位(1単位)を認定し、続いて英語基礎 [1] 及び英語基礎 [2] を履修することになります。  
なお、英語基礎 [1] 及び英語基礎 [2] を履修しながら、TOEIC試験を受験することができます。その時点において、TOEICのスコアが400点に到達した学生については、履修中の英語基礎 [1] 及び英語基礎 [2] の単位を認定します。ただし、TOEICのスコアが400点に到達しなかった学生については、引き続き英語基礎 [1] 及び英語基礎 [2] を履修してください。
- ④ TOEICのスコアが300点に到達しない学生については、スコアをクリアするまで、TOEIC指導の単位を認定することができませんので、繰り返しTOEIC指導を履修してください。  
なお、TOEIC指導と英語基礎 [1] 及び英語基礎 [2] については、並行して履修することができます。
- ⑤ ②に該当する学生については、展開1及び展開2の授業科目から選択して、履修することができます。ただし、授業科目の内容及びレベルを考慮すると、展開1の授業科目から選択して、履修することを薦めます。
- ⑥ ③に該当する学生のうち、英語基礎 [1] 及び英語基礎 [2] の単位を修得した学生については、展開2の授業科目から選択して、履修することができます。

### (4) 授業科目の内容について

#### ◆ TOEIC準備(1単位)：前期クォーター1

この授業科目については、TOEICの意義を学習し、問題の形式に慣れ、実際に6月上旬に予定しているTOEICの試験を受験することを目的としています。TOEICとは、英語の能力を忠実に反映する試験ですが、TOEICに不案内なまま受験した場合には、低いスコアに終わってしまう傾向にあるので、各自の実力を存分に発揮するためには、適切な準備が必要となります。

この授業科目においては、全学部の学生に統一したテキストを使用します。また、指定された履修クラスを変更することはできません。



◆ TOEIC指導(1単位)：前期クォーター2以降

この授業科目については、TOEICにおけるリスニングとリーディングの基礎学力を養成することを目的とします。TOEICのスコアが300点に到達するまで、単位を認定することができませんので、スコアをクリアするまで、繰り返し履修してください。

この授業科目の内容については、担当教官によりTOEIC対策の強化のポイントに違いがありますので、共通教育シラバスにより履修クラスを選択してください。ただし、履修希望者多数の場合には、履修クラス指定されることがあります。

なお、工学部夜間主コースの学生については、工業英語3級とTOEICの300点とを同等に見なし、単位認定を受けることができます。

◆ 英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕(各1単位)：後期クォーター1及び2

この授業科目については、基礎学力不足の学生のために、文法及び語彙力の養成を重点的な目的としています。後期クォーター授業として、同一の曜日・時限に連続して開設されています。

この授業科目においては、全学部の学生に統一したテキストを使用します。また、指定された履修クラスを変更することはできません。

◆ TOEIC認定400(0単位)

この授業科目については、単位数を設定していませんが、TOEICのスコアが400点に到達することにより、基礎の授業科目(TOEIC指導、英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕)の単位をすべて認定します。

◆ 展開1授業科目群(各2単位)

展開1の授業科目については、TOEICのスコアが400点に到達した学生のみ履修することができます。各授業科目の内容については、担当教官により異なっており、バラエティに富んだ内容となっていますので、共通教育シラバスを参照しながら、履修してください。

◆ 展開2授業科目群(各2単位)

展開2の授業科目については、TOEICのスコアが400点に到達していない学生においても、基礎の授業科目の単位をすべて修得した学生については、履修することができます。展開2の授業科目については、展開1と比較すると、限られた授業科目数ですが、経済学部及び医学部医学科においては、必修科目に指定された授業科目もあります。

(5) 不足単位を補う場合の留意事項

新課程の履修要件に基づき、不足単位として補うことができる単位数については、1年次に配当されている英語の単位数のうちの不足単位数を上限とします。

なお、教育学部及び工学部の2年次以上の学生を対象とする英語Ⅱの不足単位については、2年次以上の学生対象の所定のクラスの授業を履修し、不足単位を補ってください。

(6) 宇部地区における開講について

常盤キャンパスにおいて、TOEIC準備(再)、TOEIC指導(再)、英語基礎〔1〕(再)及び英語基礎〔2〕(再)を開講します。医学部及び工学部の学生については、新課程の履修要件に基づき、これら授業科目の単位を修得することにより、英語の不足単位を補うことができます。

### 3. 初習外国語の不足単位の補う場合の留意事項

(1) ドイツ語の不足単位を補う場合の留意事項

〔吉田キャンパス〕

① 前期のドイツ語Ⅰは、前期または後期のドイツ語Ⅰ(再)で、後期のドイツ語Ⅰは、後期のドイツ語Ⅰ(再)で、不足単位を補ってください。

② 前期のドイツ語Ⅱは、前期または後期のドイツ語Ⅱ(再)で、後期のドイツ語Ⅱは、後期のドイツ語Ⅱ(再)で、不足単位を補ってください。

③ 前期のドイツ語Ⅰ＋Ⅱは、前期または後期のドイツ語Ⅰ(再)とドイツ語Ⅱ(再)で、後期のドイツ語Ⅰ＋Ⅱは、後期のドイツ語Ⅰ(再)とドイツ語Ⅱ(再)で、不足単位を補ってください。

- ④ 前期のドイツ語Ⅲは、新課程のドイツ語会話1または2で、後期のドイツ語Ⅲは、新課程のドイツ語会話2で、不足単位を補ってください。
- ⑤ 前期のドイツ語Ⅳは、新課程のドイツ語入門1または2で、後期のドイツ語Ⅳは、新課程のドイツ語入門2で、不足単位を補ってください。

#### 〔常盤キャンパス〕

- ① 前期のドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅳは、前期のドイツ語Ⅳ(再)または後期のドイツ語Ⅳ(再)で、後期のドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅳは、後期のドイツ語Ⅳ(再)で、不足単位を補ってください。
- ② ドイツ語Ⅳ(再)を受講できるのは、吉田キャンパスでドイツ語Ⅰもしくはドイツ語Ⅳを履修したが、単位を修得できなかった学生のみです。吉田キャンパスでドイツ語を全く履修していない学生や、もう既に2単位修得している学生は履修できません。また、単位に加算されるのは、吉田キャンパスで修得できなかった分だけで、それ以上修得しても単位には加算されません。

#### 〔小串キャンパス〕

ドイツ語の開講は予定されていません。ドイツ語の単位を修得できなかった学生は、吉田キャンパスで履修してください。

### (2) フランス語の不足単位を補う場合の留意事項

- ① 前期のフランス語Ⅰは、新課程のフランス語入門1で、後期のフランス語Ⅰは、新課程のフランス語入門2で、不足単位を補ってください。
- ② 前期のフランス語Ⅱは、新課程のフランス語会話1で、後期のフランス語Ⅱは、新課程のフランス語会話2で、不足単位を補ってください。
- ③ 前期のフランス語Ⅲは、新課程のフランス語会話Ⅰで、後期のフランス語Ⅱは、新課程のフランス語会話2で、不足単位を補ってください。
- ④ 常盤キャンパス及び小串キャンパスでは、フランス語の開講は予定されていません。フランス語の単位を修得できなかった学生は、吉田キャンパスで受講してください。

### (3) 中国語の不足単位を補う場合の留意事項

- ① 中国語初級会話、中国語初級読本、中国語初級総合の不足単位を補う場合、過去の年次の前期の単位は、新課程の中国語入門1または中国語入門2で補えますが、後期の単位は中国語入門2でしか補えません。
- ② 常盤キャンパスでは、基礎中国語(再)を開講します。工学部の学生については、この授業科目を修得することにより、中国語初級会話、中国語初級読本の不足単位を補うことができます。不足単位を補う場合、前期の不足単位は前期または後期で補えますが、後期の不足単位は後期でしか補えません。
- ③ 小串キャンパスでは、中国語の開講は予定されていません。医学部保健学科の学生については、常盤キャンパスで開講される基礎中国語(再)を修得することで、中国語初級会話、中国語初級読本の不足単位を補うことができます。不足単位を補う場合、前期の不足単位は前期または後期で補えますが、後期の不足単位は後期でしか補えません。

### (4) ハングルの不足単位を補う場合の留意事項

- ① 前期のハンブルⅠは、新課程のハンブル入門1で、後期のハンブルⅠは、新課程のハンブル入門2で、不足単位を補ってください。
- ② 前期のハンブルⅡは、新課程のハンブル初級会話1で、後期のハンブルⅡは、新課程のハンブル初級会話2で、不足単位を補ってください。
- ③ 常盤キャンパス及び小串キャンパスでは、ハンブルの開講を予定していませんので、ハンブルの単位を修得できなかった学生は、吉田キャンパスで受講してください。

### (5) 不足単位を補う場合の単位数等

初習外国語の不足単位を補う場合の単位数は、入学年度に規定された単位数となります。

上記以外の点については、旧課程への読替表及び各自の入学年度の共通教育履修の手引きを参照にしてください。

#### 4. 教養外国語における不足単位を補う場合の留意事項

(1) 教養英語の不足単位を補う場合の留意事項

『教養英語』の不足単位を補う場合には、過去の学年次の履修クラスにおいて、履修することを原則とします。

なお、不足単位については、前期または後期のいずれかの単位により補うことができます。

(2) 教養ドイツ語・教養フランス語・教養ハンガルの不足単位を補う場合の留意事項

各自、入学年度の共通教育履修の手引きに従ってください。

(3) 教養中国語の不足単位を補う場合の留意事項

教養中国語の過去の年次の不足単位は、前期の単位は前期で、後期の単位は後期で補ってください。

(4) 宇部地区における開講について

常盤キャンパスにおいて、教養英語(再)を開講します。工学部の学生については、この授業科目の単位を修得することにより、教養英語の不足単位を補うことができます。

#### 5. 常盤キャンパスのドイツ語Ⅳ((再)という表示のないもの)について

常盤キャンパスで開講されているドイツ語Ⅳ((再)という表示のないもの)を履修できるのは、吉田キャンパスでドイツ語の単位を2単位以上修得した学生に限られます。

# 旧課程への読替表(平成13年度以前入学者)

系列	新課程(平成14年度以降入学者)			旧課程(平成13年度以前入学者)			備考	
	分野	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
人文学科	哲学	哲学	2	分野別科目	人文科学分野	哲学	2	注1
				分野別科目	人文科学分野	論理学		
	倫理学	倫理学	2	分野別科目	人文科学分野	倫理学	2	注1
				分野別科目	人文科学分野	東洋文化論	2	
	歴史学	生命倫理学	2	分野別科目	人文科学分野	生命倫理学	2	
				分野別科目	人文科学分野	日本史	2	
				分野別科目	人文科学分野	東洋史	2	
	宗教学	宗教学	2	分野別科目	人文科学分野	西洋史	2	
				主題別科目		思想と文化	2	
	心理学	心理学	2	分野別科目	社会科学分野	心理学	2	
				分野別科目	人文科学分野	日本文学	2	
	文学	日本文学	2	分野別科目	人文科学分野	漢文	2	
分野別科目				人文科学分野	外国文学	2		
言語学	漢文	2	分野別科目	人文科学分野	外国文学	2		
			分野別科目	人文科学分野	国語学	2		
芸術	言語学	2	分野別科目	人文科学分野	美術	2	注1	
			分野別科目	人文科学分野	音楽	2		
			分野別科目	人文科学分野	美術	2		
社会科学	法学	芸術実践	2	分野別科目	人文科学分野	音楽	2	
				分野別科目	人文科学分野	音楽	2	
	政治学	法学	2	分野別科目	社会科学分野	法学	2	
				分野別科目	社会科学分野	日本国憲法	2	
	経済学	日本国憲法	2	分野別科目	社会科学分野	政治学	2	
				分野別科目	社会科学分野	経済学	2	
	社会学	政治学	2	分野別科目	社会科学分野	社会学	2	
				分野別科目	社会科学分野	社会学	2	
	地理学	社会学	2	分野別科目	社会科学分野	社会学	2	
				分野別科目	社会科学分野	社会学	2	
	民俗学	地理学	2	分野別科目	社会科学分野	地理学	2	
				分野別科目	社会科学分野	民俗学	2	
文化人類学	民俗学	2	分野別科目	社会科学分野	民俗学	2		
			分野別科目	社会科学分野	文化人類学	2		
教育学	文化人類学	2	分野別科目	社会科学分野	文化人類学	2		
			分野別科目	社会科学分野	教育学	2		
情報学	教育学	2	主題別科目		社会と組織	2		
			主題別科目		社会と組織	2		
産業倫理	情報メディア論	2	主題別科目		社会と組織	2		
			主題別科目		社会と組織	2		
ベンチャービジネス論	産業倫理	2	主題別科目		社会と組織	2		
			主題別科目		社会と組織	2		
社会科学総合	ベンチャービジネス論	2	分野別科目	社会科学分野	社会科学概論	2		
			分野別科目	社会科学分野	社会科学概論	2		
自然科学	自然科学入門	数学入門1	1				読替なし	
		数学入門2	1				読替なし	
		物理学入門1	1	理系基礎科目	入門講義	物理学入門	2	注2
		物理学入門2	1					
		化学入門1	1	理系基礎科目	入門講義	化学入門	2	注2
		化学入門2	1					
		生物学入門1	1	理系基礎科目	入門講義	生物学入門	2	注2
	生物学入門2	1						
	数学	数学I	2	分野別科目	自然科学分野	数学A	2	注3
				理系基礎科目	基礎講義	基礎数学I	2	
		数学II	2	分野別科目	自然科学分野	数学B	2	注3
				理系基礎科目	基礎講義	基礎数学II	2	
物理学	物理学I	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎物理学I	2		
	物理学II	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎物理学II	2		
化学	化学I	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎化学I	2		
	化学II	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎化学II	2		
生物学	生物学I	2	分野別科目	自然科学分野	生物学A	2	注3	
			理系基礎科目	基礎講義	基礎生物学I	2		
	生物学II	2	分野別科目	自然科学分野	生物学B	2	注3	
地球科学	生物学II	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎生物学II	2		
	地球科学I	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎地球科学I	2		
地球科学	地球科学II	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎地球科学II	2		
	数学概論	2	分野別科目	自然科学分野	数学	2		
自然科学概論	現代物理学総説	2	分野別科目	自然科学分野	物理学	2		
	現代化学総説	2	分野別科目	自然科学分野	化学	2		
	現代生物学総説	2	分野別科目	自然科学分野	生物学	2		
	現代地球科学総説	2	分野別科目	自然科学分野	地球科学	2		
自然科学の考え方	数学の考え方	1					読替なし	
	物理学の考え方	1					読替なし	
	化学の考え方	1					読替なし	
	生物学の考え方	1					読替なし	
	地球科学の考え方	1					読替なし	
自然科学実験	自然科学実験	2					読替なし	
	物理学実験A	2	理系基礎科目	基礎実験	物理学実験	2		
	物理学実験B	1	理系基礎科目	基礎実験	物理学基礎実験	1		
	化学実験A	2	理系基礎科目	基礎実験	化学実験	2		
	化学実験B	1	理系基礎科目	基礎実験	化学基礎実験	1		
	生物学実験	2	理系基礎科目	基礎実験	生物学実験	2		
地球科学実験	2	理系基礎科目	基礎実験	地球科学実験	2			

# 旧課程への読替表(平成13年度以前入学者)

新課程(平成14年度以降入学者)				旧課程(平成13年度以前入学者)			備考		
系列	分野	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数			
応用 科 学	統計学	社会科学のためのやさしい統計学	2	分野別科目	社会科学分野 統計学	2			
		理工学のための統計学	2	分野別科目	社会科学分野 統計学	2			
		医学のための統計学	2	理系基礎科目	基礎講義 基礎数学V	2			
	医療福祉	情報処理概論	情報処理概論	2	分野別科目	応用科学分野 情報処理概論	2		
		介護論	介護論	1	医療技術系基礎科目	基礎講義 介護論	1		
			福祉ボランティア論	2	医療技術系基礎科目	基礎講義 福祉ボランティア論	2		
			社会福祉学	2	医療技術系基礎科目	基礎講義 社会福祉学	2		
			発達心理学	2	医療技術系基礎科目	基礎講義 発達心理学	2		
	医療心理学	2	医療技術系基礎科目	基礎講義 医療心理学	2				
	応用科学	科学史	科学史	2	分野別科目	自然科学分野 科学史	2		
		技術概論	技術概論	2	分野別科目	応用科学分野 技術概論	2		
		技術史	技術史	2	主題別科目	自然と科学	2		
		生命科学概論	生命科学概論	2	分野別科目	応用科学分野 生命科学概論	2		
		環境学	環境学	2	分野別科目	応用科学分野 環境学	2		
		人間環境論	人間環境論	2	主題別科目	環境と人間	2		
		社会と医療	社会と医療	2				読替なし	
		デザイン科学	デザイン科学	2	分野別科目	美術	2		
		スポーツ医学	スポーツ医学	2	主題別科目	健康とスポーツ	2		
運動健康科学		運動健康科学	2	分野別科目	応用科学分野 運動健康科学	2			
スポーツ運動実習	スポーツ運動実習	1	分野別科目	応用科学分野 スポーツ運動実習	1				
初 期 教 育	初期教育	フレッシュマンセミナー(新入生合宿)	0				読替なし		
	情報処理	基礎セミナー	2	初期教育科目	基礎セミナー	2			
		情報処理演習	2	初期教育科目	情報処理	2			
		日本事情	日本事情A	2	初期教育科目	日本事情A	2		
			日本事情B	2	初期教育科目	日本事情B	2		
			日本事情C	2	初期教育科目	日本事情C	2		
			日本事情D	2	初期教育科目	日本事情D	2		
日本事情E	2					読替なし			
日本事情F	2				読替なし				
外 国 語	英語	TOEIC準備	1				注4		
		TOEIC指導	1						
		英語基礎〔1〕	1						
		英語基礎〔2〕	1						
		TOEIC認定400	0						
		実践総合英語	2						
		Comprehensive English(By Native Speakers[1])	2	基礎外国語科目	英語	英語	2	注5	
		Comprehensive English(By Native Speakers[2])	2						
		英語リーディング	2						
		英語ライティング	2						
	英語特別演習	2							
	TOEIC認定500(TOEFL450)	2							
	TOEIC認定600(TOEFL500)	2							
	経済英語1	2	教養外国語科目	教養英語	教養英語(経済)	2			
	経済英語2	2	教養外国語科目	教養英語	教養英語(経済)	2			
医学英語1	4					読替なし			
医学英語2	2					読替なし			
初 習 外 国 語 入 門	医療英語	医療英語	2	医療技術系基礎科目	基礎外国語 医療英語	2			
		基礎医療英会話	2	医療技術系基礎科目	基礎外国語 基礎医療英会話	2			
		医療英会話	2	医療技術系基礎科目	基礎外国語 医療英会話	2			
	ドイツ語入門	ドイツ語入門1	2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語IV(前期)	1		
		ドイツ語入門2	2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語IV(前期または後期)	1		
		フランス語入門1	2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語I(前期)	1		
		フランス語入門2	2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語I(後期)	1		
		中国語入門	中国語入門1	2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級会話(前期)	1	注6
			中国語入門2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級読本(前期)	1		
				基礎外国語科目	中国語	中国語初級総合(前期)	1		
中国語入門2	2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級会話(前期または後期)	1	注6			
中国語入門2	2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級読本(前期または後期)	1				
中国語入門2	2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級総合(前期または後期)	1				
ハンダ語入門1	2	基礎外国語科目	ハンダ語	ハンダ語I(前期)	1				
ハンダ語入門2	2	基礎外国語科目	ハンダ語	ハンダ語I(後期)	1				
ド イ ツ 語	ドイツ語初級1	4					読替なし		
	ドイツ語初級2	4					読替なし		
	ドイツ語会話1	2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語III(前期)	1			
	ドイツ語会話2	2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語III(前期または後期)	1			
	ドイツ語中級1	2					読替なし		
	ドイツ語中級2	2					読替なし		
フ ラ ン ス 語	フランス語初級1	4					読替なし		
	フランス語初級2	4					読替なし		
	フランス語会話1	基礎外国語科目	フランス語	フランス語II(前期)	1	注6			
		基礎外国語科目	フランス語	フランス語III(前期)	1				
	フランス語会話2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語II(後期)	1	注6			
		基礎外国語科目	フランス語	フランス語III(後期)	1				
フランス語中級1	2					読替なし			
フランス語中級2	2					読替なし			

# 旧課程への読替表(平成13年度以前入学者)

系列	新課程(平成14年度以降入学者)			旧課程(平成13年度以前入学者)			備考	
	分野	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
外国語教育	中国語	中国語初級1 a	2				読替なし	
		中国語初級1 b	2				読替なし	
		中国語初級2 a	2				読替なし	
		中国語初級2 b	2				読替なし	
		中国語初級会話1	2				読替なし	
		中国語初級会話2	2				読替なし	
		中国語中級1	2				読替なし	
		中国語中級2	2				読替なし	
		中国語中級会話1	2				読替なし	
		中国語中級会話2	2				読替なし	
		中国語閱讀1	2				読替なし	
		中国語閱讀2	2				読替なし	
	ハングル	ハングル初級1	4				読替なし	
		ハングル初級2	4				読替なし	
		ハングル初級会話1	2	基礎外国語科目	ハングル	ハングルⅡ(前期)	1	
		ハングル初級会話2	2	基礎外国語科目	ハングル	ハングルⅡ(後期)	1	
		ハングル中級1	2					読替なし
		ハングル中級2	2					読替なし
	日本語	日本語Ⅰ-A	1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅰ	1	
		日本語Ⅰ-B	1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅰ	1	
日本語Ⅱ-A		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅱ	1		
日本語Ⅱ-B		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅱ	1		
日本語Ⅲ-A		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅲ	1		
日本語Ⅲ-B		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅲ	1		
日本語Ⅳ-A		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅳ	1		
日本語Ⅳ-B		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅳ	1		
日本語Ⅴ-A		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅴ	1		
日本語Ⅴ-B		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅴ	1		
日本語Ⅵ-A		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅵ	1		
日本語Ⅵ-B		1	基礎外国語科目	日本語	日本語Ⅵ	1		
主題	思想と文化	2	主題別科目		思想と文化	2		
	芸術と表現	2	主題別科目		芸術と表現	2		
	社会と組織	2	主題別科目		社会と組織	2		
	環境と人間	2	主題別科目		環境と人間	2		
	自然と科学	2	主題別科目		自然と科学	2		
	健康とスポーツ	2	主題別科目		健康とスポーツ	2		
一般	総合科目	2	総合科目		総合科目	2		
	総合科目(医療環境論Ⅰ)	4	総合科目		総合科目(医療環境論Ⅰ)	4		
	総合科目(医療環境論Ⅱ)	4	総合科目		総合科目(医療環境論Ⅱ)	4		
	総合科目(知的財産権論)	2	総合科目		総合科目	2		

(注1) 授業科目の読み替えについては、講義のテーマに基づき、以下のとおり読み替えるものとする。

〔哲学〕前期の木曜日5・6時限に開講する哲学(船橋)については、論理学に読み替えるものとし、これ以外の開講科目については、哲学に読み替えるものとする。

〔倫理学〕前期の月曜日5・6時限に開講する倫理学(豊澤)及び後期の金曜日7・8時限に開講する倫理学(林)については、東洋文化論に読み替えるものとし、これ以外の開講科目については、倫理学に読み替えるものとする。

〔芸術実践〕前期の金曜日7・8時限に開講する芸術実践(吉賀)については、美術に読み替えるものとする。

後期の木曜日7・8時限に開講する芸術実践(末廣)については、音楽に読み替えるものとする。

(注2) 新課程における両方の授業科目の単位を修得すれば、旧課程の対応科目に読み替えることができる。

(注3) 授業科目の読み替えについては、講義の対象クラスに基づき、以下のとおり読み替えるものとする。

〔数学Ⅰ〕及び〔数学Ⅱ〕理学部数理解科学を対象クラスとするものについては、基礎数学Ⅲ及び基礎数学Ⅳに、医学部医学科を対象クラスとするものについては、数学A及び数学Bに読み替えるものとし、その他の学部及び学科等を対象クラスとするものについては、基礎数学Ⅰ及び基礎数学Ⅱに読み替えるものとする。

〔生物学Ⅰ〕及び〔生物学Ⅱ〕医学部医学科を対象クラスとするものについては、生物学A及び生物学Bに読み替えるものとし、その他の学部及び学科等を対象クラスとするものについては、基礎生物学Ⅰ及び基礎生物学Ⅱに読み替えるものとする。

(注4) 英語の不足単位を補う場合には、原則として、TOEIC準備から履修しなければならない。

(注5) 英語の不足単位を補う場合の単位数については、新課程の単位数を旧課程の単位数に適用するものとする。

(注6) 新課程における授業科目の単位を修得すれば、旧課程のいずれか1つの授業科目に読み替えることができる。